

# 第4回 武庫川女子大学

# 研究成果の 社会還元促進に関する 発表会

2020年  
2月21日(金)  
15:30~17:30

## 【プログラム】

15:30 開会あいさつ  
副学長 山崎 彰  
趣旨説明  
教育研究社会連携推進室長  
大坪 明  
15:35 研究発表  
17:30 閉会

参加費・参加申込  
不要!!

会場：武庫川女子大学  
武庫女ステーションキャンパス  
レクチャールーム



	発表者	タイトル — サブタイトル — (概要は裏面へ)
1	教育学科 講師 井谷 信彦	即興パフォーマンスの手法を用いた「協働による創造」としての学び — 個々の受講者が「自分なりの」学びを深めるリフレクションをととして —
2	教育研究社会連携推進室 特任教授 大坪 明	西宮市鳴尾地区の地区課題の分布に関する調査研究 — 鳴尾地区の団体別・区域別の課題の認識と一部課題の解決案について —
3	生活美学研究所 助手 加登 遼	ウォーカビリティから見たオールドニュータウンの将来シナリオに関する試案 — 北大阪都市計画区域の茨木市におけるスマートデクラインに向けて —
4	生活環境学科 教授 黒田 智子	線状開発地・甲子園の生活道路 — 歩行者から見た自然と歴史的景観の調査 —
5	英語文化学科 准教授 三宅 弘晃(代表)	産学連携によるグローバル人材の育成 — 国際業務力からの実践的な英語教育の接合 —
6	食物栄養学科 教授 内藤 義彦	健康づくり及び食育活動に関する地域と大学の連携の新しい展開
7	生活環境学科 教授 三好 庸隆	大阪府豊能町における健康まちづくりの試み — 公園を活用して住み続けたいまちづくり —

主催 武庫川女子大学  
教育研究社会連携推進室  
住所 兵庫県西宮市池開町6-46

Tel 0798-45-9854 (直通)  
E-mail shakai@mukogawa-u.ac.jp



生活	産業	文化 芸術	発表者	概要
○	○	○	教育学科 講師 井谷 信彦	学校、企業、自治体などにおける、児童・生徒、教職員、社員、地域住民などによる「協働による創造」としての学びを推進する方法として、即興演劇の役者のトレーニング手法などとして知られるインプロゲームの活用価値を提案する。
○			教育研究社会連携推進室 特任教授 大坪 明	鳴尾地区の自治会や老人会等に対して行った地区課題のアンケート調査から、区域や団体別の課題の所在を明らかにし、その指摘された課題中の一部が、空家問題の解決に連動して解決可能なことを示す。
○			生活美学研究所 助手 加登 遼	自動運転、空き家活用、近居支援など、様々な取り組みが全国各地で展開される中、本発表は、ウォーカービリティの観点から、オールドニュータウンの高齢社会シナリオを試案する。
		○	生活環境学科 教授 黒田 智子	甲子園開発地と周辺道路の開発当時の計画図との比較分析、現在の道路・水路・松林・石碑等の調査の結果から、著名建築家・計画者による開発に現在顕在・潜在する魅力と問題点を整理。甲子園ホテルの当初案と実際の敷地条件を比較し、支配人林愛作の敷地選定の意図を考察。
	○		英語文化学科 准教授 三宅 弘晃(代表) 三浦秀松、山田慎人、 宇佐美彰規、辻和成	産学連携を通じ、地元企業の英語事情を汲んだグローバル人材育成を目指す。そのため、セミナー、サービスラーニング、企業研修を有機的に接合、学びをeポートフォリオに組織化しエンプロイアビリティを設計する。
○			食物栄養学科 教授 内藤 義彦	西宮市在住の若い世代の健康課題を把握するため、定期健康診断結果を用いて、一人暮らし学生とそうでない学生（自宅等）との比較を通じて健康課題を抽出する。また、西宮市保健所と連携した健康づくりを進めるため、その端緒となる食育学生ボランティアの活動成果を紹介する。
○			生活環境学科 教授 三好 庸隆	豊能町ときわ台地区及び東ときわ台地区における街区公園の利活用実態と今後のあり方についての提案。

## 【会場案内】

阪神電鉄「鳴尾・武庫川女子大前」駅改札出てすぐ  
※駐車場はございませんので公共交通機関をご利用ください。

武庫川女子大学  
武庫女ステーションキャンパス



レクチャールーム  
は  
右奥です。

レクチャールーム

